

# 地域おこし協力隊通信

## 活動報告

活力創生課

三浦尚子



こんにちは。三浦です。突然ですが、皆さん「エモい」って分かりますか？私は最近ようやくエモいを理解してきたのですが...笑エモいって、まさに国東の為にある言葉なのです！日常のすぐそばに様々な歴史の遺物が佇む国東。数百年の時を刻んだ苔むした石造物に、神社やお寺、地域に伝わる伝説など。なんだか懐かしくてちょっ

ぱり切ない...

ここでご紹介したいのが、コミュニティバスのおでかけ号。そんな国東のエモスポット巡りにぴったりなんです！路線ごとに違う谷を目指す国東のバス沿線には、それぞれの地域の文化を映す特色豊かな風景が広がっていて、バスに乗っているとまるで歴史旅行をしている気分になります。しかも、おでかけ号は片道100円なのです！お得！

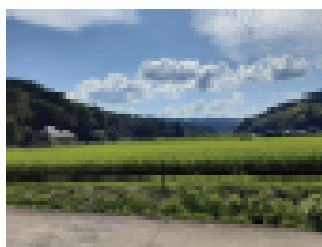
この素晴らしさを沢山の方に伝えたい！と、おでかけ号沿線の名所旧跡や伝説などを記したマップを作成することにしました。今後、完成した路線から順次、国東バスターミナル、観光協会、市役所などに設置予定です。観光の方はもちろん、一番は地域の方に国東のエモバス旅を楽しんでいただきたいなと思っています。

※バスの運行時間などは、総合時刻表（市役所1階）でご確認ください。

※エモい...英語の「emotional（エモーショナル）」を由来とした、日本のスラング（俗語）、および若者言葉であり、感情が揺さぶられた時や、気持ちをストレートに表現できない時、「哀愁を帯びた様」「趣がある」「グッとくる」などに用いられる。Wikipediaより



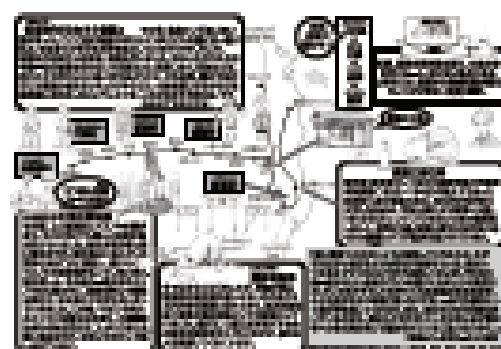
▲上国崎線名物、国東オコスンジャーのお出迎え風景



▲赤松線沿線の風景



◀こま犬様



▲小原線のマップ

## 生活記録

社会教育課

山村光輝



今月号より、「地域おこし協力隊通信」の編集担当となりました山村光輝です。

さて、わたしが福岡から国東に移住してきてはや5か月、国東での生活にもだんだんと慣れてきました。今回は実際に暮らして感じた国東の魅力を書いていこうと思います。

まずは、スーパーにならぶ普通のお刺身が、福岡のそれと比べてとてつもなくおいしい、しかも安い！気温が下がればさかなも一層脂がのってくと思うと今からわくわくが止まりません。

シカ肉やシシ肉は、私の両親が知り合いの猟師さんからのおすそ分けでいただくようで、新鮮なジビエは鶏豚牛と等しく美味でした。スーパーで買うお肉と違い、ついさっきまでこのシカイノシシは生きていたという実感が強く残っているため、普段よりも命のありがたみを噛みしめながらいただいております。

また、都会の人混み・喧噪が苦手だったので、このまちの時間がゆるりと流

れる感覚がとても気に入っています。透きとおる海、雄大で緑あふれる自然、無数の星、目に入るものすべてが心躍らせてくれます。

国東での暮らしに慣れてきたので、今まで後回しにしていた観光にもそろそろ手をつけてみようと思っています。特に六郷満山文化は必修科目だと思われるので、時間をとってじっくりめぐって行きたいです。



### ▲くにみ海浜公園

7月～9月の間、SUPにカヤック、ウィンドサーフィンが楽しめます。海岸もきれいに整備されているためお散歩にも最適です。